

地理 (Geography)		1 年・通年・2 単位・必修 電気工学科 担当 三浦 隆宏
〔準学士課程 (本科 1・5 年) 学習教育目標〕 (1)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕	〔 JABEE 基準 〕
<p>〔 講義の目的 〕 グローバル化がますます加速する現代において、諸外国の情勢を知っておくことは不可欠であろう。特に将来技術者を目指すみなさんにとって、諸外国の地理的状況や気候 / 風土、産業などについての知識は、技術を移転したり自身が現地へ赴くにあたり非常に重要な前提条件になると思われる。 本講義では、以上の問題意識のもと、さまざまな国や諸地域についての地理的な基礎知識を身につけるとともに、現在浮上してきている「地球的な課題」について共に考えることを目的とする。</p>		
<p>〔 講義の概要 〕 教科書第 部、第 部における諸外国 (韓国、中国、ロシア、EU、アメリカ、東南アジア、インド など) の地理的状況、産業の学習を 縦系 にしつつ、適宜第 部における気候 / 風土の学習、および第 部における地球的な課題の探求を 横系 として差し挟みながら進めてゆく。</p>		
<p>〔 履修上の留意点 〕 地理の学習では、地図の活用が最も重要である。地図帳は教科書とともに毎回持参し、必要に応じて様々な情報について自ら調べる習慣を身につけてください。</p>		
<p>〔 到達目標 〕 前期中間試験：はじめにグローバル化が進む世界の状況について確認したあと、日本の近隣諸国である韓国・北朝鮮、中国の現状について理解し、人口・食料問題に関して問題点を発見できること。 前期期末試験：ロシアと EU の現状について理解し、都市・居住問題に関して考察できること。 後期中間試験：アメリカ、東南アジア、インドの現状について理解するとともに、環境・エネルギー問題に関して問題解決への糸口を見つけ出せること。 学年末試験：これまでの各国別の学習を踏まえたうえで、より抽象的に現代世界を地図化して捉えつつ、民族・領土問題の克服への手がかりを探求できること。</p>		
<p>〔 評価方法 〕 定期試験 (70%) を基本とし、これに授業内での小テスト (15%) ・長期休暇中の課題レポート (15%) を加えて、総合的に評価します。</p>		
<p>〔 教科書 〕 『新詳地理 B』初訂版、帝国書院 『新詳高等地図』初訂版、帝国書院 〔 補助教材・参考書 〕 1:25,000 地形図「大和郡山」国土地理院発行 配布プリント教材</p>		
<p>〔 関連科目 〕 社会科科目全般に関連します。</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	イントロダクション	年間の講義内容 / 計画についてのおおまかな説明を行なう	
第2週	グローバル化する世界	「グローバル化」とはどのような事態なのか理解する	
第3週	韓国の研究	韓国の自然と民族について学ぶ	
第4週	韓国の研究	韓国の産業と人びとの生活について学ぶ	
第5週	北朝鮮の研究	北朝鮮の歴史的経緯と現状について掴む	
第6週	中国の研究	中国の自然と民族について学ぶ	
第7週	中国の研究	中国の政治・経済体制について理解する	
第8週	人口・食料問題	人口・食料問題の何が問題なのかを理解する	
第9週	ロシアの研究	ロシアの自然と民族について学ぶ	
第10週	ロシアの研究	ロシアの歴史的経緯と現状について掴む	
第11週	EUの研究	国境を越えて結びつくヨーロッパの現状を把握する	
第12週	EUの研究	EUの農業政策と工業の課題を理解する	
第13週	産業の発達と変化	グローバルに結びつく産業について学ぶ	
第14週	工業製品の生産と流通	世界の工業地域について概観する	
第15週	都市・居住問題	都市・居住問題について考察する	
前期期末試験			
第16週	アメリカの研究	アメリカの自然と歴史的経緯について学ぶ	
第17週	アメリカの研究	アメリカの農業と産業構造の変化について学ぶ	
第18週	インドの研究	インドの自然と民族について学ぶ	
第19週	インドの研究	インドの成長する経済について理解する	
第20週	東南アジアの研究	東南アジアの自然と民族について学ぶ	
第21週	東南アジアの研究	ASEANの結成と工業化の地域差について理解する	
第22週	世界の気候	気候要素と気候因子、気候区分について学ぶ	
第23週	農産物の生産と流通	世界の農業地域の区分を掴む	
第24週	環境・エネルギー問題	環境・エネルギー問題について考察する	
第25週	世界を結ぶ交通・通信	航空交通網の発達と情報化社会の到来について学ぶ	
第26週	現代世界の国家	国家を構成する諸要素 / 条件について理解する	
第27週	地図で捉える現代世界	世界を地図化することのメリットを理解する	
第28週	同上	地図化によって見えてくる諸問題を把握する	
第29週	民族・領土問題	民族・領土問題に関して考察する	
第30週	総まとめ	一年間の講義内容を振り返る	
学年末試験			

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)